

那賀川源流碑開きで上下流交流を開催（那賀川河川事務所）

那賀川源流は「那賀川アフターフォーラム」のメンバーらによって、平成17年に剣山山系「ジロウギユウ（次郎笈）」を望む徳島県那賀郡那賀町木頭北川に定められ、同年に、源流碑と源流モニュメントが設置されました。



那賀川源流碑



那賀川源流

この地において、平成30年5月27日（日）に、「那賀川アフターフォーラム」主催、「ゆきかう那賀川推進会議」共催による「那賀川源流碑開き」が開催されました。

「那賀川源流碑開き」は、那賀川流域において1年間の安全を祈願するとともに、上下流連携の促進を図るため、源流が特定された翌年の平成18年に始まり、今回で13回目を数えます。



当日は、早朝から青空が見られ、少し汗ばむほどの陽気につつまれるなど、天候に恵まれた一日となりました。今年度は、初めて参加者を一般公募で募った結果、平島小学校や吉井小学校の児童、阿南工業高等専門学校の学生、企業、一般参加者など、合計約80名に参加して頂きました。

上下流の交流会では、阿南高専の湯城名誉教授による「那賀川源流特定までの経緯」を、彫刻家の井下俊作先生から、「源流モニュメント」に込められた思い等についてご紹介頂きました。また、児童及び阿南高専の学生による学校紹介や校歌の紹介、参加者全員による源流モニュメント周辺等の清掃活動を行い



参加者全員による清掃活動



井下先生の源流モニュメントへの思い

ました。その後、源流まで向かい、児童の皆様には那賀川源流の水質調査（簡易パケット）を実施してもらいました。

源流までの道のりでは、通路付近に生えている木の種類について、中村会長から説明頂きました。源流では、桑野川と那賀川源流の水質調査を行い、どちらの水がきれいなのか比べてもらい、那賀川源流の水がきれいな水だと確認することができました。



木に触れる子どもたち



移動状況



桑野川の水質と比べています



那賀川源流の水質調査中



集合写真

那賀川河川事務所では、今後とも那賀川流域の活性化に向けて、上下流の連携・交流の促進を支援していきたいと思ひます。